

【同窓会報告】

39 回生 卒後 50 周年記念クラス会の開催報告

藤原 伸行

39 回生にとって、今年(平成 26 年)は卒後 50 年の記念すべき節目の年にあたり、周囲の山々が秋色濃い季節となった平成 26 年 10 月 27 日(月)、翌 10 月 28 日(火)の両日、絶好の秋日和のもと、卒後 50 周年記念事業として(1) 記念謝恩会(2) 母校訪問会を開催した。

記念すべき謝恩会は、翌日の大学訪問を考慮して亀岡市の湯の花温泉「溪山閣」に決め、松本幹事の行き届いた指示のもと、山田先生にご出席を賜り 12 名の級友が参加して開催した。出席予定の山田、湯田氏の 2 名が事前に入院となり出席できなかったのは大変残念であったが、出席者全員が松本幹事を補助すべきとしてそれぞれ一役を担うことにした。

10 月 27 日、亀岡駅から 15 時 30 分発の送迎バスでホテルに着いた連中は、みんなで温泉に浸かり気分をほぐした後、恒例ともいえる各自持ち寄りのツマミ(・・・)によるビール会が早くもスタートした。

肝心の「50 年記念謝恩会」は、午後 6 時から駒井氏司会のもと、10 月 12 日に急逝した原田義弘氏のご冥福を祈って黙祷を捧げた後、泉氏の乾杯の音頭で開宴となり、京料理に舌鼓を打ちつつ暫く歓談した。宴もたけなわになった頃、みんながお世話になった山田名誉教授にご登壇をお願いし、用意された感謝状と記念品が先生に手渡され、山田先生から厚いお言葉をいただき、集合写真を撮り、参加者の近況報告の後中締めとした。



場所を移した二次会では、次回開催の話になったが酒の勢いもあって、越前(・・・)カニ(・・・)を食べようの機運が高まり、来年度を待たずして泉氏が幹事を担い、来年 3 月、福井に集合することが急遽決定した。

翌 10 月 28 日は、卒後 50 周年記念母校訪問会である。午前 9 時、ホテルのロビーに集合した一行は送迎バスで、一方、山田先生を乗せた山さんは自家用車でそれぞれ京都医療科学大学を目指した。

大学に到着した一行は応接室で一服した後、廣瀬事務局長に感謝状を贈呈した。大学にはすでに寄付金を納めていたので事務局長からお礼の挨拶があり、次の植樹祭に移った。

記念植樹は、運動場下の日当たりの良い斜面に 5 年物の桜の木を植え、参加者一人一人がスコップを手にして土を盛り、木の生長を願った。花は再来年の春に咲くそうで二年後の春が待ち遠しく感じる。植樹した桜の木を囲んで記念写真を撮り、その後、学内を 1 時間ほどかけて廻ったが、現在の恵まれた環境で勉学や実習に励む学生を見ると、我々の学生時代が脳裏に浮かびうらやましい限りであった。

お昼も近くなった頃、西谷名誉教授のご好意によって、焼き肉とビールによる昼食パーティが開かれたのである。大学裏手のバーベキュー場には屋根が設けられており、大学では”あずまや”と呼ばれ、学友会の寄付によるものと聞いた。西谷先生手作りのサラダと炊き込みご飯が好評でみんなおいしくいただき、山田先生や西谷先生との会話が随分はずみ時間の経つのも忘れるほどであった。午後1時を過ぎ、校舎内に設けられた学友会室に案内され、各自時間の許す限りこの部屋で過ごし、次回の再開を約して三々五々と母校を後にした。



参加者:山田勝彦名誉教授(来賓)、板垣修平、内山陽一、大石橙一、大屋俊男、駒井良則、相馬孝之、
武田典明、泉栄一、藤原伸行、松本進、門間静雄、山哲男

以上

* 通巻 214 号 2015 年 1 月 10 日発行(H26—No.4)より